

「委員の現地視察所感」要旨一覧

| 分類1 | 分類2 | 分類3 | 委員名 | 主な内容 | 備考 |
|-----------|-------|--------------|------|--|----|
| 03.現地視察所感 | 02.流域 | 01.森林 | 奥西委員 | 森林管理による雨水浸透増加、表面浸食防止効果の定量的評価が必要であるように思った。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 02.流域 | 01.森林 | 伊藤委員 | 真南条川の源流付近の水源かん養保安林のあり方を検討し、一刻も早い手入れが必要と感じた。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 02.流域 | 02.農地(ため池含む) | 伊藤委員 | 農業構造改善のため、整然として区画された農地は3面張りの水路で囲まれて降った雨はそのまま下流へ流されるようになっていました。このような所には遊水地が必要と思います。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 02.流域 | 02.農地(ため池含む) | 中川委員 | 上流域における小河川の洪水や水田が遊水地化する状況などを、正しく把握する必要があると一層強く感じた。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 02.流域 | 04.その他 | 中川委員 | 流域各地域で発生している現象は一極集中的な対処より各地域の実情に応じたきめ細かい対処のほうがすばやい効果が期待できるのではないかと感じている。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 01.河道 | 奥西委員 | 三田市街地は、蛇行した河川を直線化した結果、少しの疎通能力改善と引き換えに河道の長期安定性を失ったと危惧する。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 01.河道 | 奥西委員 | 三田市街地は、100年確率にほど遠い疎通能力で、河川改良になったか、検証が必要である。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 01.河道 | 奥西委員 | 三田盆地は、ポンプ排水で下流に負荷をかけるのか、遊水地機能をもった河川区間とするか、検討が必要である。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 01.河道 | 奥西委員 | マイタウン・マイリバー計画は、問題である。観光ダムの堆砂など治水面の再検討が必要である。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 01.河道 | 奥西委員 | 下流部は、河道掘削による疎通能力増大効果は大きく、潮止め堤の撤去と橋の橋脚補強が不可欠である。河床低下による取水への支障は大きな問題はない。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 01.河道 | 酒井委員 | リバーサイド住宅周辺については、現況を正確に把握し、住民の意見を十分聴取し、抜本的な対策について討議する必要がある。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 01.河道 | 酒井委員 | マイタウン・マイリバー計画で巨額な資金を投入して作り上げた人工の川には何の魅力もなく、市民の暮らしとは程遠い存在であると感じられた。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 01.河道 | 伊藤委員 | リバーサイド住宅は諸方策によりこの救済が急務となりそうです。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 01.河道 | 伊藤委員 | マイタウン・マイリバー計画は、これからでも住民や専門家の意見を聞き修正できるものは修正が必要ではないでしょうか。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 02.ダム | 奥西委員 | 青野ダムの防災効果が限定的であり、委員会で詳細な審議が必要と思われる。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 02.ダム | 奥西委員 | 青野ダムの堆砂量データを委員会に提出し、流域全体の見地から、専門的な検討が必要と思われる。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 02.ダム | 奥西委員 | 武庫川ダム計画で、溪谷の景観や生態系保全、リバーサイド住宅の安全確保・住宅移転について、どのような検討がされたか、委員会で調査が必要である。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 02.ダム | 奥西委員 | 武庫川ダム計画の河床変動予測調査は、やり直す必要がある。流砂量公式の選択も再検討が必要である。 | 書面 |

「委員の現地視察所感」要旨一覧

| 分類1 | 分類2 | 分類3 | 委員名 | 主な内容 | 備考 |
|-----------|--------|--------|-------|--|----|
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 02.ダム | 酒井委員 | 青野ダムが治水面で果たす役割は大きいと思うが、近年多発する異常降雨、局地的集中豪雨など災害に備えて放流の警戒態勢等についての啓蒙が必要である。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 04.土砂 | 奥西委員 | 溪流砂防工事が降雨流出に及ぼす影響、砂防計画と河川計画の連携について審議する必要が感じられた。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 06.その他 | 酒井委員 | 武庫川の支川である砂防河川は、川床を下げ落差工を設けコンクリートで固定する三面張りになっており、人工の滝とも言うべき支流は武庫川本川への負荷を大きくしている。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 06.その他 | 酒井委員 | 上流域の小盆地から小盆地へ蛇行しながら流れる武庫川本流は、流下能力が著しく劣り洪水時には、内水による田畑の冠水被害は常習化している。このことが武庫川全体の治水を考えるうえで過去に遊水地としての役目を果たしていることについても着目すべき事柄である。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 06.その他 | 佐々木委員 | どこまで安全率を見込むかということを今回(新潟)の災害を教訓とし、慎重に検討するとともに、様々な角度から可能性のある整備手法をすべて重ねた総合治水によって対処していくしかないと感じた。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 06.その他 | 佐々木委員 | 河川性格上分類した流域に即した整備方針とそれらを総合的に考えた場合の治水安全度・利水・環境を十分勘案し、そのなかに危険地域等を含む重点区域への最高安全率を優先した策を盛り込んでいく必要がある。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 03.治水 | 06.その他 | 佐々木委員 | これまで培われてきた河川行政のシステムの中で、どこまで現実の総合治水に取り組むことができるかが、大きな課題であると思う。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 04.利水 | 03.その他 | 酒井委員 | 武庫川上流の山々は、低山が点在している特異な地形から、経常的に流量が乏しく、増水濁水の差が大きい。そして近年生活排水の浄化施設からの放流等も相まって川のもつ自浄能力も著しく低下している。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 05.環境 | 01.生態系 | 奥西委員 | 神橋付近の試験施工の試験項目とヨーロッパの手法の項目の関係が理解できない。専門委員の意見も聞きたい。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 05.環境 | 01.生態系 | 奥西委員 | 前田橋下流の工事は、生物地理学的な観点から、広域的に調査が必要であるとの印象を持った。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 05.環境 | 01.生態系 | 奥西委員 | 青野ダムの魚道は、1点豪華主義で流域にとっては無意味である。この程度の魚道をすべてのダムに設置する必要性について検討の必要がある。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 05.環境 | 01.生態系 | 酒井委員 | 魚道について遡上する魚が見られるが、流下する手段がないのは生態系の確保の上から疑問に思う。河川改良による落差工の設置等で魚類及び水生生物の生態系が壊されている。今後武庫川の将来像を論じるときは、水系全体の生態の回復が望まれる。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 05.環境 | 01.生態系 | 酒井委員 | 潮止堰の功罪についてもっと勉強したい。特に生態系やヘドロと堆砂の問題等も正確に認識しておきたい。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 05.環境 | 01.生態系 | 伊藤委員 | 油井地区、藍本地区の河川工事の現場を見て、地域住民や工事以外の専門家の意見を聞きながら試行、施工されているのは大きな進歩と感じました。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 06.その他 | | 酒井委員 | 河道を直線化し、川床を平坦にして河道断面を確保したという効率本位の川であり、人の暮らして隔絶した川の在りようについては本委員会でも論じられる議題であろう。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 06.その他 | | 佐々木委員 | 源流から河口まで貴重な顔を幾つも備えた、非常に個性のある河川である。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 06.その他 | | 佐々木委員 | 武庫川らしい個性と魅力は、次世代へと残していくべき自然の遺産であると感じた。しかし、その財産と背中合わせにある治水、利水を十分踏まえ、どこで何を譲り、優先するのか、全体を通して総合的に考え、さらに地域の意見、住民の参画と協働によって、しっかり判断していかなければならないと思う。 | 書面 |
| 03.現地視察所感 | 06.その他 | | 中川委員 | 宝塚の観光ダムにしる高水敷の治水目的外利用にしる、それらと治水とどちらをより優先させるべきかという判断をせずに一方的に利用を進めてきたことに、大きな問題があると感じている。 いったいどこで私たち人間が武庫川(自然)と折り合いをつけるのか、その選択を流域住民が意思をもってしなければならぬと思う。 | 書面 |

「委員の現地視察所感」要旨一覧

| 分類1 | 分類2 | 分類3 | 委員名 | 主 な 内 容 | 備考 |
|-----------|--------|-----|------|---|----|
| 03.現地視察所感 | 06.その他 | | 中川委員 | 流域全体での総合治水対策の具体的対策として、河川管理者だけではなく行政組織横断的な検討を行うことは言うまでもない。 | 書面 |